

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	小学校図書館の充実				継続					
コード	92	-	23	-	02	-	00	予算事業名	小学校指導事務	
担当部署	学校教育部	教育指導課		図書担当		予算事業コード	会計 10	款 10	項 02	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	2章 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	子どもの読書活動の推進に関する法律、学校図書館図書標準
方向性(節)	2節 個性を生かす学校教育の推進	個別計画等の名称	川越市子ども読書活動推進計画
施策	2 教育環境の整備・充実		
細施策	3 学校図書館の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	「小学校児童」 ・学校図書館図書標準を達成することにより、一人あたりの蔵書数を増やす。 ・読書活動を推進することにより、児童の豊かな心と確かな学力の育成を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	・教育委員会職員と各学校職員が協力して、児童のニーズに応じた計画的な図書の購入及び廃棄を実施する。 ・朝読書や読み聞かせ、「小江戸読書マラソンカード」の活用を通じて、児童の読書活動を推進する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額				16,963	19,850	16,940	
事業費	A			16,963	19,850	16,940	16,940
	B	0	0	0	0	0	0
総コスト(C=A+B)		0	0	16,963	19,850	16,940	16,940
正規職員(1年間の従事人数)							
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D			0	3,000	0	
その他特定財源	E						
市の財政負担(=C-D-E)		0	0	16,963	16,850	16,940	16,940

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	学校図書館図書標準の達成率	%	65.8	68.0	70.6	74.8	文部科学省が設定した学校図書館図書標準
成果	一人あたりの蔵書数	冊	11.7	12.0	12.5	13.1	当該年度の蔵書数÷児童数
成果	一人あたりへの貸出数	冊			21.2	21.8	児童一人あたりへの年間貸出数

中心指標の考え方 本事業は、成果指標を中心に評価する。

指標に基づく評価 市立小学校の学校図書館の蔵書数を、学校図書館図書標準が示す冊数に近づけることにより、児童の読書活動が活性化してきている。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
学校図書館図書標準は改善傾向にあるが、限られた予算の中で蔵書数を増やすとともに、蔵書の質の確保を図るなど量と質のバランスを取りながら、図書館の充実を図っていく。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他市においても、本市と同様に学校図書館図書標準の達成率の向上に向けて取り組んでいる。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
児童にとって最も身近な学校図書館の蔵書数が減少することで、読書量も減少し、学力向上や豊かな心の育成にも影響が出てくると考えられる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
今後も、蔵書率を上げる努力をするとともに、児童のニーズに応じた図書や教科で活用できる図書を整備するなど、蔵書の質と量の充実を図る。	